

3・4総決起集会 連帯あいさつ

連合

芳野会長

連合からは、芳野友子会長
自らが駆けつけ、さらには、
多忙の中、集会終了までご参



加いただきました。芳野会長
は「連合はライドシェア全面
解禁によって労働者の生活と
利用者の安全と安心が破壊さ
れないよう、引き続き取り組
んでまいります」とハイタク
労働者に心を寄せました。ま
た、過労死による労災認定件
数が過去最多を記録した事実
を示し、高市政権が検討する
「労働時間規制の緩和」に断
固反対の意思を表明しました。

交運労協 池之谷議長



交運労協の池之谷潤議長
は、ライドシェア完全解禁阻
止へ強い思いを示すととも
に、日本版ライドシェアにつ
いても「苦肉の策が、本来の
タクシ―事業を圧迫すること
は本末転倒だ」とし、国の審
議会の中でも「安易な緩和を
せず厳格な取り扱いに軌道修
正することを提言している」
とあいさつ。地域公共交通を
守るため、「既存のタクシ―
乗務員を増やす議論こそ必要
だ」と強調しました。

タク政策議連 辻元会長

超党派タクシ―政策議員連
盟の会長である辻元清美参議
院議員が登壇。衆院選で議連



中道改革連合 西村副代表



中道改革連合の西村智奈美
副代表は、まず衆院選での支
援に深く感謝。タクシ―ドラ
イバーだった父の思い出を振
り返りつつ「国会に残った一
人一人が、働く人・生活する
人のための政治へ、熱い思い
に燃えている」と語りました。

立憲民主党 田名部幹事長



立憲民主党の田名部匡代幹
事長は、「(落選した)多くの
仲間の気持ちを背負い、だか
らこそ、皆様と一緒に、雇用
を守り、安全を守り、処遇改
善を実現する政策の実現に全
力で尽くしていきたい」と、
言葉に力を込めました。

国民民主党 田村議員



国民民主党の田村まみ参議院議員
は「皆さんの労働環境
を守る」と、語った田
村まみ参議院議員

24時間運行の実績低迷を示し
「お客さんは乗らないことが
証明された」と強調しました。
また、野党が過半数を占め
る参議院で「おかしなことに
は歯止めをかける」との決意
を示し、参議院国土交通委員
長としても「議場に座って采
配を振るうだけでなく、現場
を視察し提言を出し、行動す
る委員長でありたい」との思
いを語りました。

労働組合の声で法律を

全タク連 坂本最高顧問が提唱



総決起集会に来賓として
駆けつけた全国ハイヤー・
タクシ―連合会の坂本克己
最高顧問は、白タク・ライ
ドシェア問題に終止符を打
つため、労働組合や野党主
導で法律を作るべきだと提
唱しました。

坂本最高顧問は、ライド
シェア問題について「なん
か方法考えて、なんかやら
仕事してるんやから、よそ

の仕事より、ぎょうさん給
料を持って帰らなアカン」
と述べ、憲法が保障する生
存権や幸福追求権を生かし
た運動を呼びかけました。
坂本最高顧問はかつて、
タクシ―適正化・活性化特
措法を成立させるため、事
業者側で中心的な役割を果
たし、昨年も、与野党に働
きかけ、改正トラック事業
法を成立に導きました。

立憲民主党 福山議員



参議院副議長の重職
を担う、立憲民主党の
福山哲郎議員も集会に
飛び入り参加。「ライ
ドシェアは利用者が必
要としていない。一種
免許の皆さんが誇り
だ」と呼びかけました。

集会アピール



本日、ハイタクフォーラムは、全国で働くハイヤー・タクシ―労働者の誇りをかけて、「旅客輸送は二種免許・緑ナンバーにまかせろ!3・4総決起集会」を開催した。

私たちの仕事は人命を預かり、安全・安心に目的地まで送り届けることである。全国のハイヤー・タクシードライバーは、その重大な責任を胸に、地域公共交通の担い手たる誇りをもって、昼夜を問わず日々の業務に精励し続けてきた。業界労使が、安全・安心の確保に最大限の力を注ぎ、接客・接遇を磨き抜いてきた日本のハイヤー・タクシ―は今や世界最高水準と呼ばれるまでに至ったが、その道のりは決して平坦なものではなかった。過酷な営業ノルマに追われ「神風タクシ―」と批判された時代や、規制緩和による低賃金に泣いた暗黒の時代を乗り越えて、今があるのだ。

だからこそ、私たちは白タクを許すことはできない。ライドシェアの完全解禁を認めることはできない。

観光地や都市部にはびこる白タクは、いまこの時も利用者の命を危険にさらし続けている。さらに、急増した都市型ハイヤーにおける名義貸しなどの違法行為や、プロの自覚を持たない白タクまがいのドライバーの悪行は、旅客輸送の秩序と安全を破壊している。一刻も早く白タクに対する厳罰化や都市型ハイヤーの適正化を実現しなくてはならない。

私たちは、維新の会などが主張するライドシェア完全解禁を絶対に認めない。二種免許をもつプロドライバーの誇りにかけて、解禁阻止の運動を闘い抜く。同時に、緊急措置として導入された「日本版ライドシェア」も終息への道筋をつける時がきた。「万博ライドシェア」の不人気ぶりは、利用者が「二種免許・緑ナンバーのハイヤー・タクシ―」を求めていることの明白な証明だ。また交通空白地等で実施されている「公共ライドシェア」はバス・タクシ―が対応困難な場合には有効な手段となりうるが、最優先されるべきは「二種免許・緑ナンバー」の旅客輸送であることを忘れてはならない。

私たちは今日ここで、「旅客輸送は二種免許・緑ナンバーにまかせろ!」と声を大にして呼び、仕事の価値にふさわしい賃金・労働条件を求めて立ち上がろう。他産業との賃金格差を解消して仲間を増やし、「二種免許・緑ナンバー」の価値ある仕事を未来へとつなげていくために闘い抜くことを、ここに決議する。

2026年3月4日
旅客輸送は二種免許・緑ナンバーにまかせろ! 3・4総決起集会
～ 他産業を上回る賃金の実現を! ～

街の皆さまに 二種免許をPR



街頭宣伝を行った全自交関東地連の皆さん



イラスト入りのティッシュ1500個を街頭で配布しました

ハイタクフォーラムは、今年初の取り組みとして集会後、利用者の方々に向けた街頭宣伝行動を実施しました。街を歩く利用者の皆さまへ「旅客輸送は二種免許・緑ナンバーにまかせろ」とイラストでアピールするティッシュを配布。小川町交差点で全自交労連、秋葉原駅で交通労連ハイタク部会、御茶ノ水駅で



ティッシュとともにプラカードを使ってアピール(小川町交差点)

全国で春闘スタート

様々な原資で要求を実現

大会を開催し、全会一致で26春闘方針を確立しました。鈴木久雄執行委員長は、春闘方針の要求額について「運

た。また国会議員署名への強力に、各単組や協力産別への感謝を述べました。



関東地連・東京地連の本田書記長

「今回は負けたが、先がある。ぜひ皆さんもご協力を」と呼びかけ、東京地連の本田弘執行委員長も「国民と共に全自交として国に政策を訴える。ここに参集した皆さんが中心になって運動を進めていかなければ」と語りました。

分たちの生活と権利は、自分たちで守り抜く」という原点に立ち返ること。政治の壁が厚いならば、組織の団結力で突破していくしかない」と激を飛ばしました。

り、分配をめぐって厳しい春闘交渉が予想されます。あいさつした水野潔執行委員長は「2020年以降3回目の運賃改定で、3割程度の値上げになるが、最賃の全国加重平均があと4年で1500円に到達することを思えば当たり前。今回の春闘で、できるかぎり勝ち取ってほしい」と呼びかけました。

運動を止めない



2万8千円以上の賃上げ要求やライドシェア全面解禁阻止を柱とした2026春闘方針案を提案し、全員の賛成で承認されました。山里広明執行委員長が、「2026春闘は我々エッセンシャルワーカーの生活と矜持、そ

自分達の生活自分達で守る

本田明広書記長が春闘方針案を提起し、「運賃改定を、確実に賃金の底上げに直結させることが最優先課題」と述べ、関東各県の年次格差を数字で示しながら、格差解消に向けた交渉を呼びかけまし

新たな仲間を迎えて

全自交神奈川地連は2月24日、横浜市のかながわ労働プラザで第66回中央委員会を開き、26春闘方針を確立。同時に、新たな仲間として「スタ

ジアム交通労働組合(杉本一浩委員長)の加入を正式決定し、神奈川地連から組合旗、労運本部からバッジを授けました。



全自交関西地連は2月11日して産業の未来を賭けた闘いに春闘討論集会を大阪市のエールおおさかで開催。櫻井邦広執行委員長は、「先の衆院選でタクシー政策議員連盟の(前立憲民主党系)衆院議員は109名から17名に減少した。維新が連立与党になり、自交労連の本田有書記長が、衆院選の影響について述べながら、「全自交運動の歩みを止めることは許されない。一層細くなつてしまった糸を手繰り寄せながらハイタク労働者の声、苦しい現状を国会に届ける」と誓いました。



全自交北海道地連は2月10日、札幌市西区「宮の沢会館」において、2026春闘臨時

大会を開催し、全会一致で26春闘方針を確立しました。鈴木久雄執行委員長は、春闘方針の要求額について「運賃改定・迎車料金創設・冬季割増・公的支援等をからめて解決すべき要求だ」と説明。道内では、直近の運賃改定による増収効果が表れていることを示し「事業者は『経費の高騰で、組合の要求には応えられない』と言ってくる



全自交関東地連と全自交東京地連は、2月12日、東京の南部労政会館で合同の春闘討論集会を開催しました。関東地連の水野潔執行委員長は衆

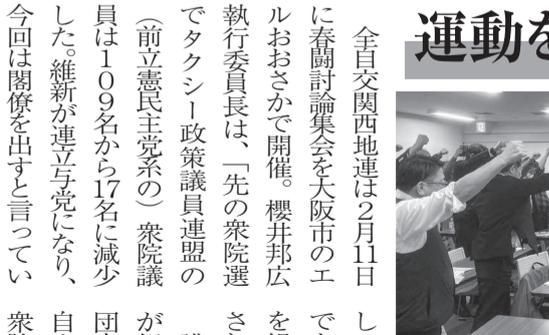
た。また国会議員署名への強力に、各単組や協力産別への感謝を述べました。



全自交神奈川地連第66回中央委員会

スタジアム交通労働組合が加入

ら、分配をめぐって厳しい春闘交渉が予想されます。あいさつした水野潔執行委員長は「2020年以降3回目の運賃改定で、3割程度の値上げになるが、最賃の全国加重平均があと4年で1500円に到達することを思えば当たり前。今回の春闘で、できるかぎり勝ち取ってほしい」と呼びかけました。



全自交関西地連は2月11日して産業の未来を賭けた闘いに春闘討論集会を大阪市のエールおおさかで開催。櫻井邦広執行委員長は、「先の衆院選でタクシー政策議員連盟の(前立憲民主党系)衆院議員は109名から17名に減少した。維新が連立与党になり、自交労連の本田有書記長が、衆院選の影響について述べながら、「全自交運動の歩みを止めることは許されない。一層細くなつてしまった糸を手繰り寄せながらハイタク労働者の声、苦しい現状を国会に届ける」と誓いました。

飛鳥交通ファミリー労組 賃金訴訟



飛鳥交通ファミリー労組の皆さん(右側)。林委員長(右から4人目)が証言。左から2人目が東京共同法律事務所の中川亮弁護士。東京地連から35名が傍聴支援に参加

いよいよ大詰め！ 林委員長が証言

2022年の運賃改定後、労使合意もいままに不当な賃下げを強行された全自交東京地連・飛鳥交通ファミリー労働組合の裁判闘争が佳境を迎えています。3月9日、東京地裁で証人尋問が開かれ

被告会社側より飛鳥交通株式会社より飛鳥交通ファミリー労働組合より飛鳥交通ファミリー労働組合の林委員長が証言台に立ちました。訴訟は次回6月25日で結審する予定で、9月ごろに判決が出る見通しです。

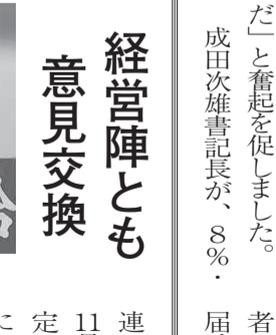
全国の待遇にも影響

の根拠を文書で回答すると約束したにも関わらず、一切回答のないまま改悪が強行された事実や、裁判の途中まで経営状況等をまったく公表せずコロナ禍と主張を変えてきた実態などが改めて明白となりました。

また会社側の証言でも、賃金規則の変更が不利益変更にあたることを認識していた事実や、増収額の分配を検討した時点で、社会保険料の事業主負担分を会社の増収分ではなく乗務員側の増収分でまかなう意図があったこと、賃金変更に関するシミュレーションを行った証拠となる資料が存在しないことなどが明らかとなりました。

強い要求と粘り強い交渉

全自交愛知地連は、2月2日、名古屋市の労働会館で第79回中央委員会と春闘学習会を開きました。下出健雄執行委員長は「田安で物価が上が



ら交渉を」と呼びかけました。



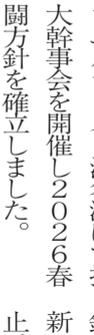
ら交渉を」と呼びかけました。



ら交渉を」と呼びかけました。



ら交渉を」と呼びかけました。



ら交渉を」と呼びかけました。